

百九十七名全員で作ったところです。クロスステッチとは×印に刺繍する手法で作品を作ります。今回は、「長崎県に来てみんね」をテーマに、総合ビジネス科五クラスがクラスごとに一枚ずつ絵を描きました。五つのクラスの題材はそれぞれ、九十九島、グラバー邸、彦岐の猿岩、島原城、平戸大橋です。一枚の絵は縦七十センチ、横百十センチほどで、四十二枚のクロスステッチを繋ぎ合わせて一枚の絵に仕上げます。生徒一人は縦十二センチ、横十六センチほどの小さな布を担当するのですが、これが三千回針を刺さないとできあがらないそうで、生徒は四苦八苦していました。できあがるまでに三ヶ月ほどかかった生徒もいたそうで、実は保護者から「子供に寝る暇も与えないほど、何をさせているのだ！」とクレームが来たほどです。しかし、仕上がってみると文部科学大臣賞を受賞するほどの素晴らしい作品。努力が実ることを生徒たちが身をもって示してくれました。この作品の素晴らしきところのもう一つは、継続して努力した結果だということです。作品は校内に展示しておりますので、是非遊びがてら学校に寄っていただき、ご覧ください。

今年も生徒には日本一を目指しなさいと発破をかけています。どんな日本一が出てくるのか楽しみです。

さて、去る四月十日、同窓会会長の幸地愛子様等ご臨席の下、本校九十二回生となる新入生の入学式を挙行いたしました。総合ビジネス科二百名、国際コミュニケーション科四十名を加え、全校生徒男子百十五名、女子五百九十五名、計七百十名で平成二十九年年度がスタートしました。同窓会の皆様には、どうかこれまでと変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会のみならずのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます、ごあいさついたします。

